

機種寸評1

- ATOM

- 問題点

- ハード面

- X軸のベルトの固定方法が致命的
 - Y軸のベルトが緩みやすく、固定しづらい
 - Z軸の位置決め方法が致命的
 - 筐体の軟弱さ、各 부품のチープさ

- ソフト面

- フリーソフトを使うため、なれるまでかなりの修行が必要

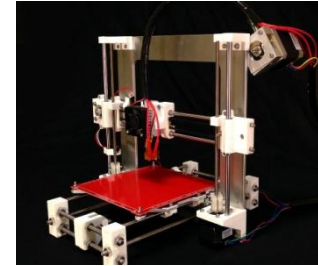
- 良い点

- ハード面

- 金属パーツなどを自作し追加することで非常に精度がでる(元々国産をうたっているだけあって各パーツの性能自体は良い)

- ソフト面

- 良いも悪いもフリーソフトが使えるので使い慣れると設定を色々いじれるので微細なモノも作れる。



機種寸評2

- **MakerBot Replicator 2X**

- 問題点

- ハード面

- テーブルの高さ調整が複雑
 - ノズルが詰まりやすい
 - テーブルが外せないなので保護テープが貼りづらい

- ソフト面

- 設定事項が少なく各項目の微調整が出来ない

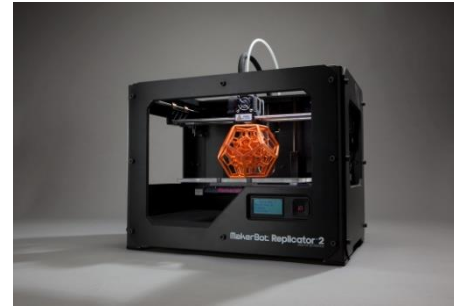
- 良い点

- ハード面

- カバーが標準装備 (MakerBot社のパテント)
 - 前面の表示パネル
 - 開始停止時にメロディ

- ソフト面

- 出力方向、サイズ、回転などが視覚的に出来て容易
 - 統合ソフトのためデータをマシンに入力するだけで出力してくれる



3Dプリンタを2ヶ月ほぼ毎日使って感じたこと (使った材料2kg)

- 簡単に使えるのが売りでも、箱から出してそのままでは使えない(思い通り作れない)
- 初心者優しいと良いながら、煩わしい作業
 - テーブルの調整(ノズルとの高さ、水平度)
 - テーブル表面に保護テープを定期的に張り替え必要
 - フィラメントの交換、ノズルのつまり
 - 安全性能(過電流時の遮断回路など)が無い?
- 初心者優しい機種ほど、ハード、ソフトでの微調整が出来ないので微細な形状など思い通りのものづくりには知恵やテクニックが必要という矛盾

3Dプリンターに求めるモノ

- 高機能、低価格(～30万)をうたっている新商品が雨後の竹の子状態。



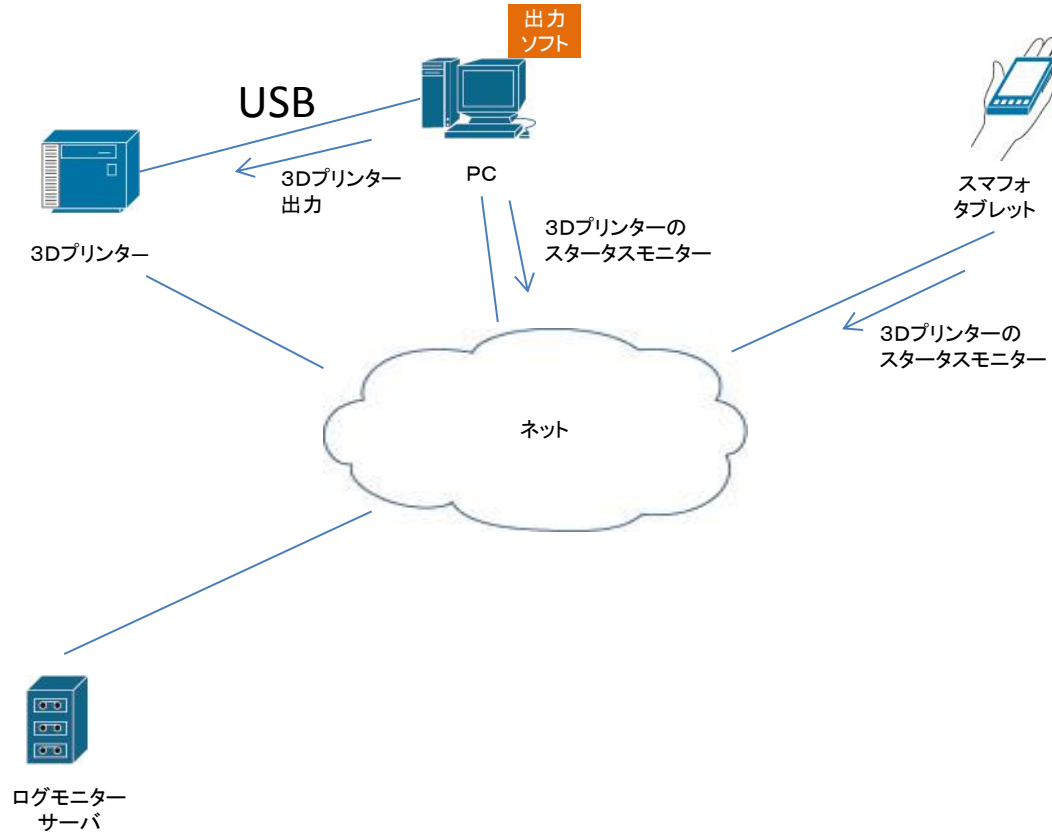
- 本当に初心者が使える機種ってあるの？
 - 面倒な作業をしなくても、いつでも、すぐに使える機種ってあるの？
 - 箱を開けて電源を入れたら直ぐ使える機種ってあるの？
 - 何も考えなくても、それなりに高精度のモノが作れるインターフェイス(ソフト面)や機能が備わっている機種ってあるの？

Hermit3Dプリンタとは

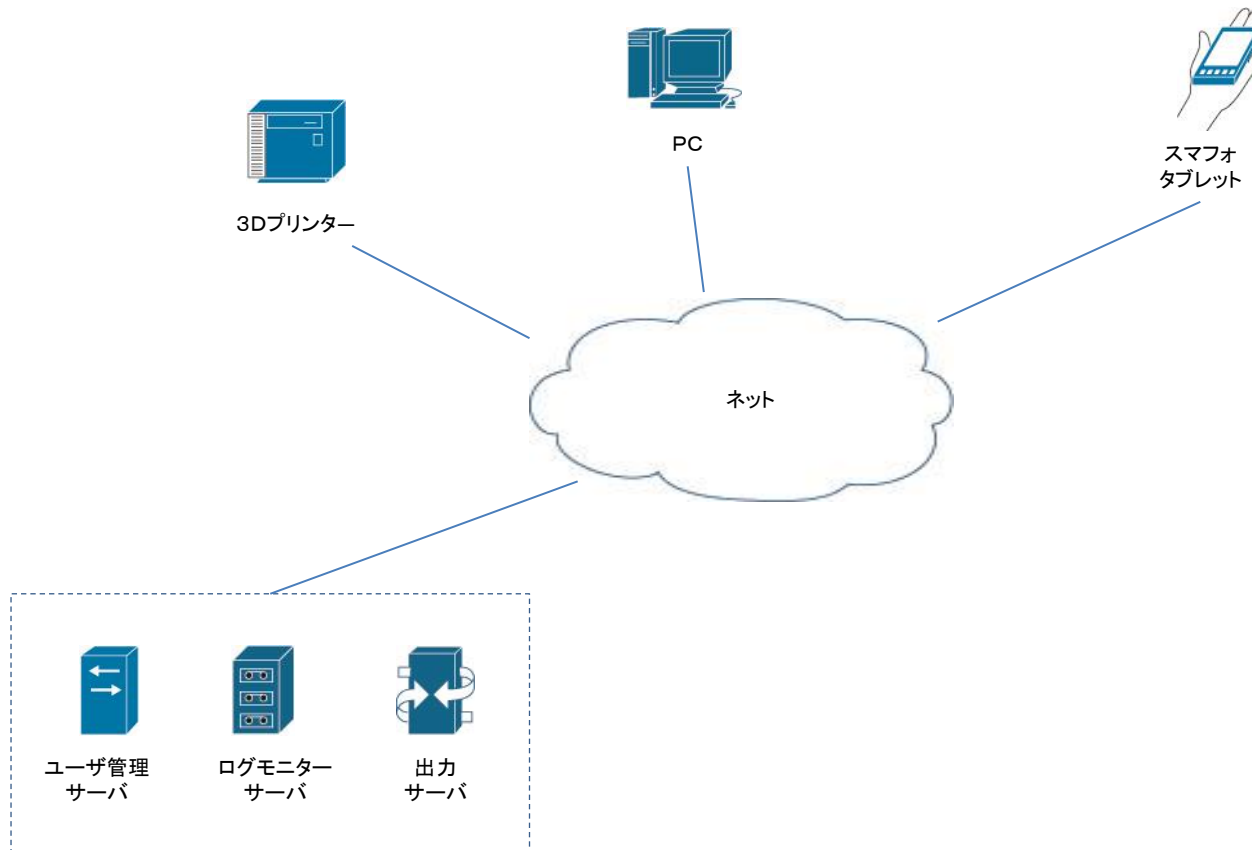
- 我々が作る3Dプリンタ
 - 独自開発
 - ファームウェア
 - 制御基板
 - スライサーソフト
 - 優れた外装デザイン
 - ネットワーク対応
 - プラットフォームを選ばないインターフェイス
 - 外出先でも進捗確認、操作が可能(緊急停止)

Hermit3Dのビジョン

Stage 0 3Dプリンター試作期 2014年4月～

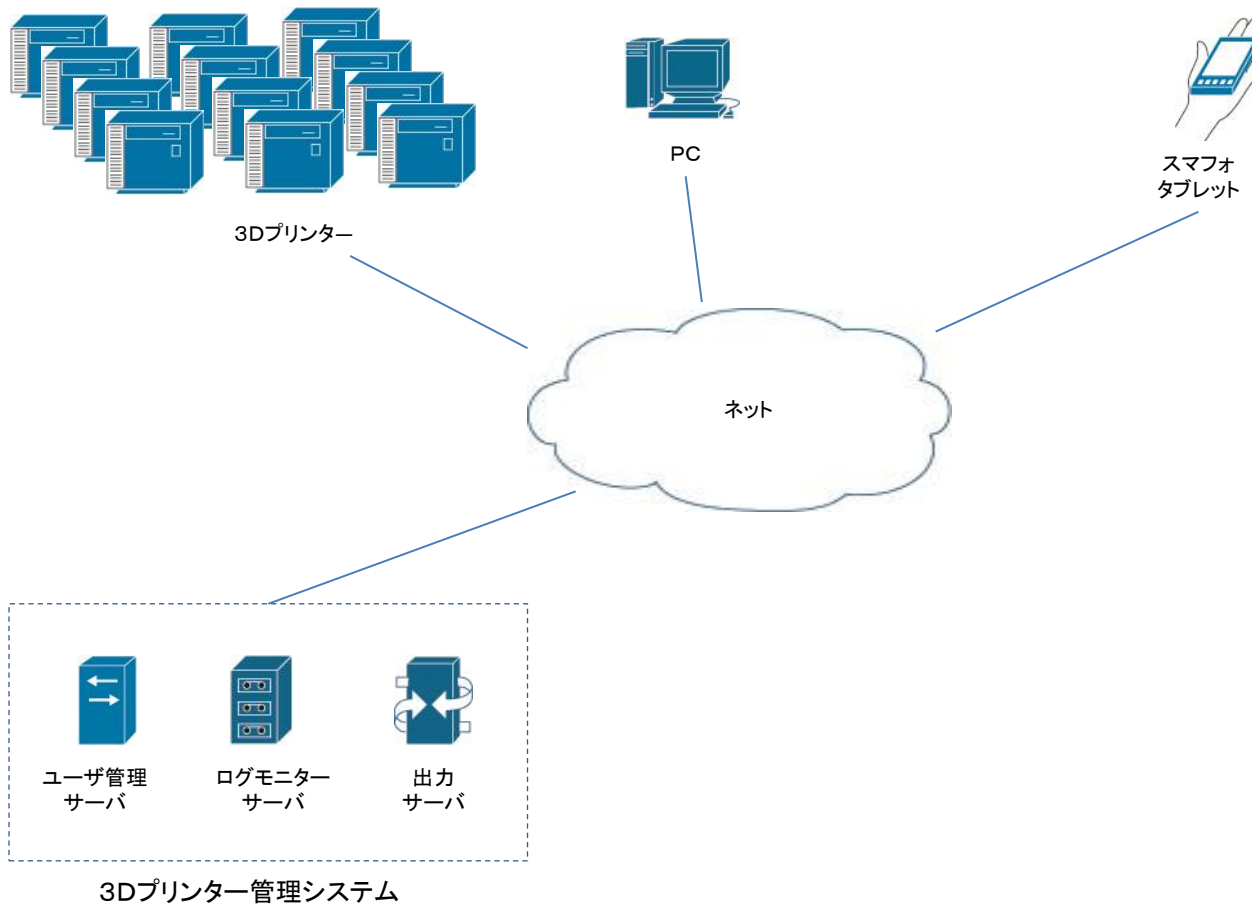


Stage 1 3Dプリンター製作期 2014年8月～



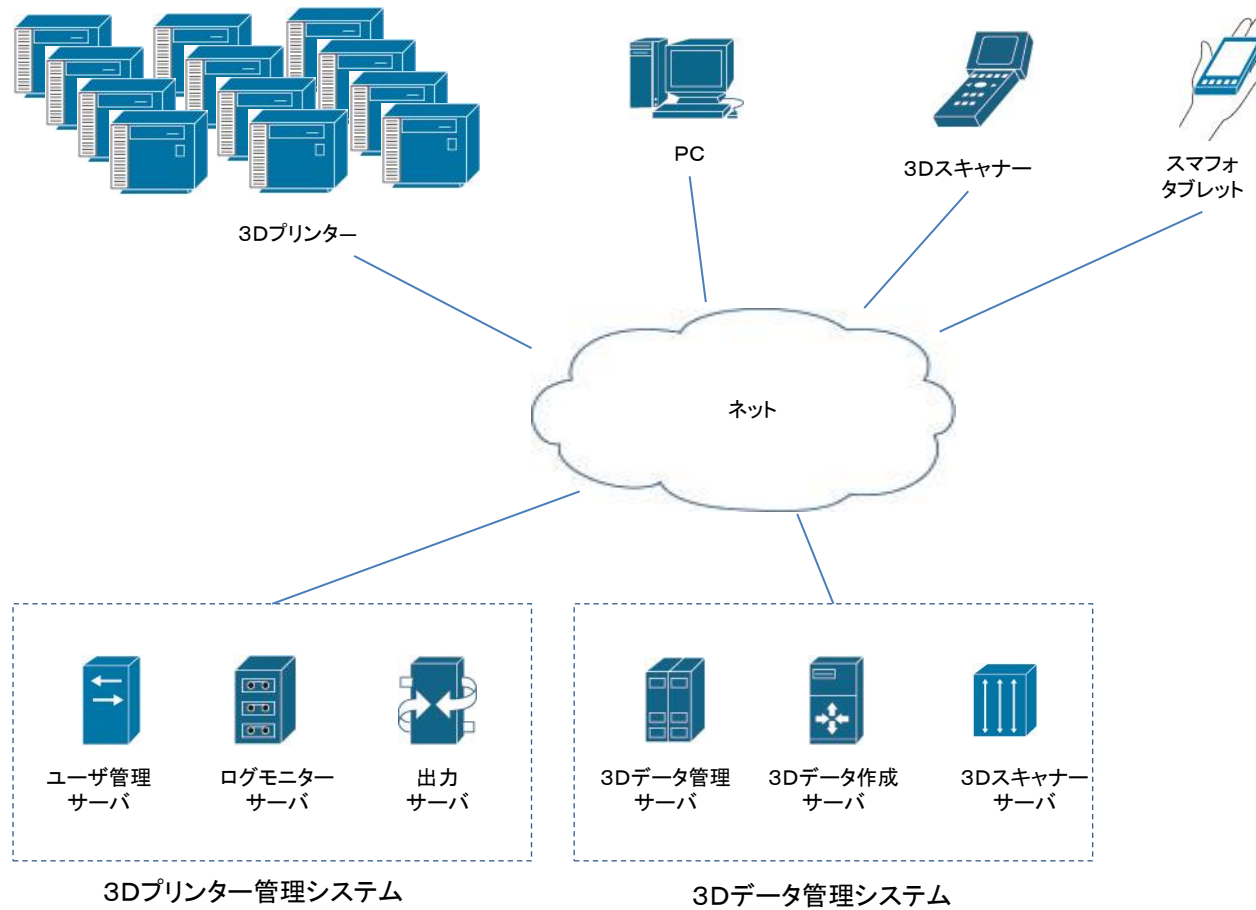
Stage 2

3Dプリンター管理システム期 2014年12月～



Stage 3

3Dデータ管理システム期 2015年4月～



Stage 4

3Dデータ流通システム期 2015年10月～

